

待降節第2(降誕前第3)主日礼拝
2021年12月5日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式:中村吉基牧師

奏楽:ヒムプレーヤー

点 火 242 番1、2 節(主を待ち望むアドヴェント)

前 奏

招 詞 ルカによる福音書 21 章 28 節

身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。

讚美歌 241(来たりたまえわれらの主よ)

聖書朗読

旧約聖書 マラキ書 3:1~4

1 見よ、わたしは使者を送る。彼はわが前に道を備える。あなたたちが待望している主は／突如、その聖所に来られる。あなたたちが喜びとしている契約の使者／見よ、彼が来る、と万軍の主は言われる。2 だが、彼の来る日に誰が身を支えうるか。彼の現れるとき、誰が耐えうるか。彼は精錬する者の火、洗う者の灰汁のようだ。3 彼は精錬する者、銀を清める者として座し／レビの子らを清め／金や銀のように彼らの汚れを除く。彼らが主に献げ物を／正しくささげる者となるためである。4 そのとき、ユダとエルサレムの献げ物は／遠い昔の日々に／過ぎ去った年月にそうであったように／主にとって好ましいものとなる。

新約聖書 ルカによる福音書 1:57~79

57 さて、月が満ちて、エリサベトは男の子を産んだ。58 近所の人々や親類は、主がエリサベトを大いに慈しまれたと聞いて喜び合った。59 八日目に、その子に割礼を施すために来た人々は、父の名を取ってザカリアと名付けようとした。60 ところが、母は、「いいえ、名はヨハネとしなければなりません」と言った。61 しかし人々は、「あなたの親類には、そういう名の付いた人はだれもない」と言い、62 父親に、「この子に何と名を付けたいか」と手振りて尋ねた。63 父親は字を書く板を出させて、「この子の名はヨハネ」と書いたので、人々は皆驚いた。64 すると、たちまちザカリアは口が開き、舌がほどけ、神を賛美し始めた。65 近所の人々は皆恐れを感じた。そして、このことすべてが、ユダヤの山里中で話題になった。66 聞いた人々は皆これを心に留め、「いったい、この子はどんな人にな

るのだろうか」と言った。この子には主の力が及んでいたのである。67 父ザカリアは聖霊に満たされ、こう預言した。68「ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。主はその民を訪れて解放し、69 我らのために救いの角を、／僕ダビデの家から起こされた。70 昔から聖なる預言者たちの口を通して／語られたとおりに。71 それは、我らの敵、／すべて我らを憎む者の手からの救い。72 主は我らの先祖を憐れみ、／その聖なる契約を覚えていてくださる。73 これは我らの父アブラハムに立てられた誓い。こうして我らは、74 敵の手から救われ、／恐れなく主に仕える、75 生涯、主の御前に清く正しく。76 幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。主に先立って行き、その道を整え、77 主の民に罪の赦しによる救いを／知らせるからである。78 これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、／高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、79 暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、／我らの歩みを平和の道に導く。」

祈 禱

説 教「沈黙の中で語りかける神」

中村吉基牧師

祈 禱

讃美歌 182(ほめうた歌え)

聖 餐

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあがめさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

中村吉基牧師

後 奏

報 告

